

♠ 施設基準等の届出状況に関するもの ♠

保険医療機関における掲示

*情報通信機器を用いた診療	(情報通信) 第 44 号	令和 6 年 6 月 1 日
スマートフォンやタブレット等の情報通信機器を使って診察や薬の処方を行っています。初診の場合には、向精神薬は処方しないこととしています。		

*医療 DX 推進体制整備加算	(医療 DX) 第 107 号	令和 6 年 6 月 1 日
<p>当院では以下のとおり医療 DX 推進の体制を整備し活用しています。</p> <p>@オンライン請求を行っています。</p> <p>@オンライン資格確認を行う体制を有しています。</p> <p>@マイナンバーカードの保険証利用について、利用しやすい環境を整備しています。</p> <p>@マイナ保険証について、院内の見やすい場所に掲示しています。</p>		

*在宅医療情報連携加算	(医情連) 第 11 号	令和 6 年 6 月 1 日
<p>医療機関・介護サービス事業者と ICT ツールでの連携体制をとっています。</p> <p>患者さんの状況に応じて診療情報等の医療情報を共有しています。</p>		

*医療情報取得加算		
オンライン資格確認システムを導入している保険医療機関です。マイナ保険証等の利用を通じて診療情報を取得・活用することにより、より質の高い医療の提供に努めています。		

*一般名処方加算		
<p>後発医薬品の使用促進を図り、医薬品の安全提供を達成するために、一部の医薬品について、一般名処方（一般的な名称により処方箋を発行すること）を行う場合があります。これによって特定の医薬品の供給が不足した場合であっても、患者さんに必要な医薬品が提供しやすくなります。ご不明な点などがありましたら、職員までお問い合わせください。</p>		

*明細書発行体制等加算		
<p>医療の透明化や患者さんへの情報提供を積極的に推進していく観点から、領収書の発行の際に、個別の診療報酬の算定項目の分かる明細書を無料で発行しております。なお、明細書の発行を希望されない方は、会計窓口にてその旨をお申し出ください。</p>		

がん性疼痛緩和指導管理料	(がん疼) 第 58 号	令和 6 年 1 月 1 日
がん性疼痛の症状緩和を目的に、治療管理や療養上必要な指導を行います。		

二次性骨折予防継続管理料 3	(二骨継 3) 第 45 号	令和 6 年 11 月 1 日
骨粗鬆症の治療による二次性骨折の予防を推進するため、外来において継続的に骨粗鬆症に関する評価及び治療を実施された患者さんへ「二次性骨折予防継続管理料 3」を算定しております。		

在宅療養支援診療所	(在援診 2) 第 43 号	令和 6 年 1 月 1 日
在宅診療患者さんに対し、「24 時間 365 日体制」で診療対応しています。医師が定期的に患者さんのもとへ定期訪問する「訪問診療」や様態の急変時等に必要に応じて訪問する「往診」等を行っています。		

在宅緩和ケア充実診療所・病院加算	(在緩診実) 第 7 号	令和 6 年 1 月 1 日
機能強化型の在宅療養支援診療所で看取りや緩和ケア、緊急時往診等十分な実績がある診療所です。		

在宅時医学総合管理料	(在医総管 1) 第 176 号	令和 6 年 1 月 1 日
通院が困難な患者さんに対し、計画的な医学管理のもとに定期的な訪問診療を行います。		

在宅がん医療総合診療料	(在総) 第 146 号	令和 6 年 1 月 1 日
居宅で療養している末期の悪性腫瘍患者さんに計画的な医学管理の下に総合的な医療を提供しています。		

生活習慣病管理料Ⅱ		
糖尿病や高血圧、脂質異常症が主病で通院の患者さんには療養計画書をもとに食事指導等の総合的な治療管理を医師、看護師、管理栄養士が協働して行っています。		

外来・在宅ベースアップ評価料Ⅰ	(外在ベⅠ) 第 223 号	令和 7 年 3 月 1 日
医療現場で働く職員の賃上げを行い、人材確保に努め、医療の質を向上させるための取り組みの一環として導入したものです。職員の賃金引き上げにすべて充てられます。		



医療法人桜花会 あすか在宅クリニック

理事長 高添 明日香